

平成 31 年 2 月 「月 報」

1 はじめに

新年早々、女子テニスの全豪オープンにおいて、大坂なおみ選手が全米オープンに続き優勝、連覇を達成して見事世界ランク 1 位に輝きました。日本では、ラグビーワールドカップ、そして来年の東京オリンピック・パラリンピックとビッグスポーツイベントが続きます。家族会としても、オリンピック等出場選手を応援したいと思います。

さて、2月になりますと、各県家族会は、入隊・入校者激励会の準備に多忙と思います。今年新しく入隊・入校する若者を激励するとともに、入隊・入校者のご家族が本会に入会して頂く絶好の機会でもあります。本年新たに作成した自衛隊家族会パンフレット、防衛情報紙おやぼと 2 月特集号、総合募集情報誌（ディフェンスワールド）2019 版等を活用して、自衛隊地方協力本部との密接な連携の下、入隊・入校者を激励するとともに「会員獲得一人が 1 人」を実践し、入会者の獲得につなげていきたいと考えます。

2 家族会の活動

(1) 平成 31 年 3 団体共催賀詞交歓会

本会・隊友会・日本郷友連盟 3 団体共催の賀詞交歓会が、1 月 16 日（水）、グランドヒル市ヶ谷にて、国会議員はじめ防衛省・自衛隊幹部、友好団体代表、在日駐在武官等約 290 人が参加して盛大に行われました。3 団体を代表して幹事団体の伊藤会長が、「本年は、新元号への移行や、統一地方選挙・参議院選挙、ラグビーワールドカップなどがあり、画期的な年になります。その中で、昨年画期的な防衛大綱が策定され、自衛隊は益々多忙になりますが、我々 3 団体は、力を合わせて自衛隊支援に邁進してまいります。」と挨拶しました。続いて原田防衛副大臣が、来賓を代表して「国の防衛は、防衛省自衛隊のみで達成できるものではなく、国民の皆様のご理解とご協力が必要です。国民と防衛省自衛隊の架け橋である皆様の変わらぬご支援をお願いします」と祝辞を述べました。本会からは、東京近傍の会員 30 名が出席し、終始和やかに歓談しました。



挨拶する伊藤会長



祝辞を述べる原田防衛副大臣



歓談の様子

(2) 派遣海賊対処行動第 11 次支援隊の慰問・激励

浦田長崎県家族会会長は、1 月 8（水）、派遣海賊対処行動第 11 次支援隊（隊長大町 3 等陸佐）に対する本会からの激励・慰問を担当しました。今回は、第 16 普通科連隊（大村）を基幹とする 110 人で編成されており、当日は浦田会長から南野第 16 普

通科連隊長に激励品を贈呈するとともに、多くの家族会員が長崎空港で派遣隊員を見送りました。



南野連隊長に激励品を贈呈する浦田会長



家族会員に見送られ出発する派遣隊員

(3) 派遣海賊対処行動第34次航空隊の慰問・激励

古門沖縄県家族会会長は、1月9日（水）、海自那覇基地にて派遣海賊対処行動第34次航空隊（隊司令赤松2等海佐）への本会からの慰問・激励を担当しました。

また、15日（火）、航空隊の那覇基地からの出発を多くの家族会員が見送りました。



赤松隊司令に激励品を贈呈する古門会長



沖縄県家族会の幟を立て見送り

(4) 家族支援に関する協定締結

田口茨城県家族会会長は、12月8日（土）、水戸市内において県内の勝田・土浦・霞ヶ浦・古河の各駐屯地及び茨城県隊友会並びに自衛隊茨城地方協力本部との間において「県内における隊員家族の支援に対する協力に関する協定書」を締結しました。協定の内容は、自衛隊側からの要請により家族会と隊友会が身の安全確保に十分配慮した上で、隊員家族の安否確認を主体に協力するとともに、定期的に会合・実動訓練を行う内容となっています。



協定締結式（中央が田口会長）